

石神の丘美術館〈花とアートの森〉に^{ひとし}齊藤均さんの作品《It blows.》が新たに設置されました。ステンレス製の黄色の塔で、高さが5メートル70センチもあります。この作品は第14回現代日本彫刻展(山口県宇部市)で京都国立近代美術館賞を受賞しています。縁があって、当館で収蔵することになりました。

この作品が面白いのは、見る場所によって、軽やかに見えたり、重厚に見えたりすることです。

試しに、西野康造さんの作品《Harmony

with the Breeze 2020》の4本脚の下に立って《It blows.》をご覧ください。作品の向う側の林が透けて見えます(本当です!)。散策路を歩いて近づいていくと、黄色のどっしりとした塔に見えてきます。真下に行ってみると、螺旋を描く塔の造形美に目を奪われることでしょう。

西野康造さんの「風で動く彫刻」と同じように、彫刻の新たな未来を開いた作品です。写真や動画では伝わりきれない作品の魅力をご自身の目で確かめていただきたいと思います。

道の駅 石神の丘からのお知らせ

産直 石神の丘

9:00-18:00
TEL 0195-61-1600

｜新商品｜ 石神の丘に新たな名物が誕生



ごぼうまるごと
丘のマドレーヌ
3個入 ¥756(税込)



sanka
ブルーベリー×にんじん×りんご×長いも
1個 ¥648(税込)

レストラン 石神の丘

10:30-18:00 (L.O.17:30)
TEL 0195-61-1602

｜新メニュー｜ 岩手町の旬の野菜を味わう



産直野菜10種類と
岩手産ソーセージの
焼きカレー セット ¥1,280(税込)

新鮮野菜たっぷり
彩り焼きカレー
と、石神の丘の夕
焼けをイメージし
たオリジナルドリン
ク(ゆうやけピコ)

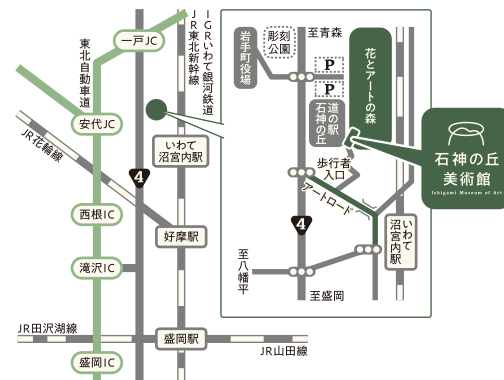
◇焼きカレー 単品
¥1,000(税込)
◇ゆうやけピコ 単品
¥380(税込)



石神の丘
美術館
Ishigami Museum of Art

〒028-4307
岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-121-21
TEL 0195-62-1453 FAX 0195-62-1477
U R L <https://ishigami-iwate.jp>
Twitter https://twitter.com/ishigami_muse
Instagram https://instagram.com/ishigami_muse

新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防および拡散防止のため、ご来館の際はマスクの着用、検温、手指消毒、入館者記録への記入をお願いしています。



Ishibi

石神の丘美術館通信 イシビ

2022. 8 Vol.225



Ishigami Museum of Art



西野 康造 《ケツアルコアトルスの憂い》(部分)
撮影:老松 弘行

石神の丘美術館〈企画ギャラリー〉では、8月28日まで「西野 康造展 そら 宙の記憶ーケツアルコアトルスの憂い」を開催しています。

中生代末期に生きたとされる史上最大級の翼竜「ケツアルコアトルス」に着想を得た新作は、チタン合金でできた15mを超える大きな翼の形。電解着色という方法で美しいグラデーションが施されています。室内に流れる微風を受けながら羽ばたく姿は、まるで生きているかのよう。ぜひ、会場で実物をご覧ください。

石神の丘開業20周年記念

西野 康造 展 ^{そら} 宙の記憶

ケツアルコアトルスの憂い

会 期：2022年 6月18日(土)～8月28日(日)
9:00～17:00 (最終入場16:30)

休 館 日：7月25日(月)、8月1日(月)、8日(月)、22日(月)

観覧料金：一般 300円／高校生以下無料
※〈花とアートの森〉共通観覧券は一般 700円

石神の丘美術館の野外エリアは、大規模な改修を行い、2020年9月〈花とアートの森〉としてリニューアルしました。当館開館の原動力となった「岩手町国際石彫シンポジウム(1973～2003年開催)」で制作された石彫作品にくわえ、この度のリニューアルでは、当地の自然や空間にあう、日本を代表する彫刻家の作品を新収蔵することが計画され、7点の作品、2点のデザイン遊具が設置されました。そのうち2点は西野康造のキネティックな動きをとりいれた作品です。

〈花とアートの森〉風の広場・空の広場に設置された作品は、吹く風を受けてゆったりと羽ばたくような動きを見せます。そのときで異なる動きは、四季の自然、石神の丘の環境を視覚的に見せることにもつながっています。

このたびの企画展は、館内企画ギャラリーで西野康造の新作を発表するものです。副題には、太古の翼竜の名がつけられました。野外エリアと企画ギャラリー、異なる空間の中で作品との出会いをお楽しみください。

西野康造さんと歩く、作品鑑賞ツアー

8月28日(日) 10:00～12:00

予約不要／参加無料

ギャラリーと野外エリアを作家とともに鑑賞しながらまわります。参加希望の方は共通観覧券をお求めの上、美術館ホールにお集まりください。

*新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、急遽イベントを変更または中止することがあります



《ケツアルコアトルスの憂い》(部分)
2022年 チタン合金、鉄、電解着色



《空の記憶 2000》(部分)
2000年 チタン合金、ステンレススチール、電解着色



《COSMOS》
2009年 チタン合金、ステンレススチール、フッ素樹脂塗料、鉄

Turning Tide: 30 Years Of Ukishima Sculpture Studio

“抗う波”の軌跡 ^{あらが} — 浮島彫刻スタジオの30年 —会 期：2022年 9月10日(土)～10月30日(日)
9:00～17:00 (最終入場16:30)

休 館 日：月曜日(月曜日が祝日の場合その翌日)

観覧料金：一般 300円／高校生以下無料
※〈花とアートの森〉共通観覧券は一般 700円

彫刻家の片桐宏典(宮城県気仙沼市出身)、ケイト・トムソン(英国セントアルバンズ出身)は、1991年に岩手県岩手町浮島に彫刻スタジオを設立。それぞれに作品制作を続けるほか、共同で公共の場にかかわる作品・パブリックアートの制作・設置やアートプロジェクトの開催に関わってきました。

2021年、浮島彫刻スタジオは開設30周年を迎えました。この機会に、企画ギャラリーおよび〈花とアートの森〉を使いながらこれまでの歩みを振り返ります。

花とアートの森 Forest of Art and Flowers

〈花とアートの森〉空の広場に
新しい作品が設置されました

作者からの寄贈によって〈花とアートの森〉に作品が1点増えました。

空の広場に設置されたのは、1948年、兵庫県生まれの彫刻家・斉藤均さんの《It blows.》という作品です。「風が吹いてきたよ」という意味をもつ作品は、ステンレス角パイプを組み合わせてつくられており、見る角度によって形や存在感が変化します。

斉藤 均 《It blows.》
1991年 ステンレス角パイプ、塗料
h 570 × 99 × 99 cm

リピーターにおすすめ！
〈花とアートの森 年間パスポート〉

年間パスポートは、ご購入いただいた日から一年間〈花とアートの森〉を何度でもご利用いただけます。植物好きな方、おさんぽ好きな方におすすめです。

一般 1,200円／75歳以上 600円

○休館日(毎週月曜日／年末年始／4月中旬メンテナンス休館／臨時休館など)はご利用いただけません
○〈企画ギャラリー〉を観覧される場合は別途料金が必要です
○入館される際は受付に年間パスポートをご提示ください
ご提示がない場合、特典は受けられません